

トータルライフアップ
2006

秋の取り組み学習会



8月26日勤労福祉センターで、構成組織から50名が参加し開催しました。

本学習会は、第9期の新たな取り組みとして、経営分析をテーマとし、来年以降の賃金交渉の一助となることを目指し、交渉の始まる前年の秋の段階で開催しました。

学習会後の参加者からは、「経営分析は、これまで行った経験がなく、ためになった。」「今後も学習会を続けるべき。」などの意見がありました。

連合群馬 第11回定期大会の案内

① 日時:10月28日(土) 11:00~

② 場所:群馬建設会館 大ホール

大会では第9期2年間の活動総括と共に、新たな運動ステージへのステップアップに向けた第10期活動方針とこれを担うべき新役員体制を決定します。

群馬県の最低賃金は、平成18年10月1日から

654円 に改定されます。
(前年比+5円)

※地域別最低賃金は、社会的セーフティネットの柱の一つとして都道府県別に定められ、そこに働く全ての労働者に適用されます。

NEWな情報はこちら!

連合群馬ホームページで随時更新中

URL <http://www.rengo-gunma.gr.jp/>

お知らせ

- 第11回定期大会
- ぐんま労協主催「ありがとう尾瀬清掃活動」ボランティア募集
- 連合エコライフ21(夏季の取り組み)
- 第3回セレクトセミナー「環境問題学習会」

最近の連合群馬

- 2006青年セミナー(9月1日)
- 新時代労研委共同提言(8月31日)
- トータルライフアップ2006秋の取り組み学習会(8月26日)
- 群経協・連合群馬第5回新たな時代の
労使合同研究委員会(8月25日)
- 2007年度 政策・制度要求と提言(8月22日)

日 時	9月30日(土) 9:30~11:50
場 所	群馬県勤労福祉センター 第1・2会議室
内 容	第1部(講演) 「地球温暖化防止 今、私たちに求められているものは」 講師 群馬大学教育学部 助教授 西蘭 大実 氏
	第2部(実践) 「暮らしのヒントこんなことからはじめよう」 講師 地球温暖化防止推進センター 理 事 三ツ橋淳子 氏

編集後記

水害をはじめとした悲惨な天災の続いた今年の夏も、すっかり秋めいてきました。

この時期は多くの労働組合が期末となり、慌ただしい方も多と思います。

秋の夜長、今期の活動をゆっくりと振り返り、次期の構想を考えるには最適です。

自分としても、反省だけではなく、頑張ったことも含めて振り返り、次期につなげたいと思います。

組合員意識調査

毎年の政策・制度要求の策定に向けた県民意識調査であるが、今年は2年ぶりに組合活動に対する組合員の皆さんの意識調査を行なった。

労働組合に期待する活動では、依然として雇用対策が一番であったが、前回の調査より15%ほど低下し、雇用問題が落着いてきたことを裏付けている。また、二番目であった要員問題への対応が若干増加していることは、現場における厳しい作業環境などを反映したものでうかがえる。

一方、組合員に興味がない活動として一番に挙げられたのは政治活動であり、若干数値が低下したものの依然として高い数値にあることは間違いない。

前回もそうであったが、組織内候補を抱えての参議院選挙を目前に控え、こうした数値に無関心であることは出来ない。大増税阻止のキャンペーンではないが、政治と生活との密接な関係について、もう一度、徹底的な政治啓蒙活動を展開してはどうなのか。